

☐4-そう思う ☐3-どちらかといえば、そう思う ☐2-どちらかといえば、そう思わない ☐1-そう思わない

学校教育目標

<p>1 教育方針・目標の理解</p> <p>学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者、地域にわかりやすく示していると思いますか。</p>	<p>2 意欲的な学校生活</p> <p>子どもは、楽しい学校生活が送れていると思いますか。</p>	<p>3 教師の連携協力</p> <p>学校では、先生方が連携協力して教育活動に取り組んでいると思いますか。</p>
<p>【学校から】〈問1〉学校の具体的な教育方針や教育目標は、学校だより「大志」やPTA総会・PTA新聞等で知らせている。また児童に対しても各学期の始業式や全校朝会時に学校のめあてとして話してきた。3と4の評価が90%程度であり昨年度とほぼ同じである。さらに保護者・児童に理解していただくように、様々な機会をとらえて教育目標・方針を示していきたい。〈問2〉において1と2の評価が保護者3%、児童8%と昨年度に比べ改善が見られる。学校が学習の場として機能を十分に発揮し、充実した学校生活を過ごせるようにと取り組んできた結果だと考える。しかし、まだ3と4が100%ではなく、今後も引き続き教職員の連携協力体制をさらに強化していきたい。</p>		

<p style="text-align: center;">教科指導</p> <p>4 授業づくりの工夫</p> <p>先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。</p>	<p style="text-align: center;">総合的な学習の時間</p> <p>6 総合的な学習の時間の充実</p> <p>子どもは、総合的な学習の時間に意欲的に取り組んでいると思いますか。</p>
<p>【学校から】〈問4〉については3と4の評価が、保護者91%、児童83%となっている。昨年度と比べて後退している。また〈問5〉の「意欲的な学習態度」についても保護者・児童とも若干後退している。本年度、研究テーマとして言語活動の充実を図るために国語を中心に研究を進めてきた。またこれまでに積み重ねてきた研究から授業改善の視点での授業づくりを行っている。今後、保護者・児童の教育的ニーズに応える授業づくり、学習の「伸び」を実感できる授業づくりを目指していきたい。</p> <p>【学校から】年間指導計画に従い、どの学年も緑化活動を素材にした環境教育を中心に、地域の人材や施設・環境を生かした特徴ある授業ができています。3・4の評価が保護者と教職員がともに93%であるのに対して、児童の評価85%と低めである。今後年間指導計画等の見直しも含めて、児童が意欲を喚起する授業づくりに努めたい。</p>	

道徳教育 心の教育

<p>7 道徳、心の教育の充実</p> <p>学校は、思いやりの心や感謝の心などを大切にす心の教育の充実に努めていると思いますか。</p>	<p>8 あいさつ、礼儀の励行</p> <p>子どもは、あいさつがきちんとできていると思いますか。</p>
<p>【学校から】〈問7〉において学習指導要領の趣旨に沿った年間計画に従って道徳の授業の充実を図っているところである。評価の結果を見ると3と4の評価が保護者90%、児童92%である。さらに児童の心情にうったえる資料の準備やロールプレイングなどの手法を取り入れて心の教育の充実に努めたい。また授業参観で道徳の授業を実施することにより、保護者と連携して道徳の実践力を高めていきたい。〈問8〉において、毎学期の生活目標に「あいさつ」を取り上げて指導を行っている。また11月の心ががやけ月間では各学年学級で挨拶運動を行った。教職員に比べて保護者と児童の評価は高い。</p>	

人権教育

<p>9 一人一人の生徒の尊重</p> <p>学校は、一人一人の子どもを大切にす指導や対応ができていると思いますか。</p>	<p>10 友だちへの思いやり</p> <p>子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。</p>
<p>【学校から】〈問9〉において、3と4の評価が保護者・児童とも86%、教職員は100%で、その認識にはかなりのずれが見受けられる。学校では、隔週で「心の教育朝会」を行い児童の現状を捉え、対処が必要な事項については全職員で共通理解を図り実践を行っている。また教育相談期間等を設けて保護者からお話を聞いている。さらに保護者・児童と教職員のよりよい人間関係の構築に努めていきたい。〈問10〉において、3と4の評価が保護者・児童・教職員とも97%である。100%になるように努めたい。</p>	

特別支援教育

<p>11 学校の支援体制</p> <p>学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。</p>
<p>【学校から】特別支援配当表を作成して、全職員での支援体制を整えている。また特別支援委員会を毎月開き、課題等を出し合い、対策を考えている。3と4の評価は保護者92%、教職員95%で昨年度と同じであった。今後も特別支援の教育的ニーズは高まると思われる。さらにきめ細かい支援体制を整えていきたい。</p>

生徒指導 教育相談

<p>12 生徒理解</p> <p>先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようと努めていると思いますか。</p>	<p>13 規範意識</p> <p>子どもは、まきりやマナーを守っていると思いますか。</p>	<p>14 いじめや問題への対応</p> <p>学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。</p>
<p>【学校から】〈問12〉において3と4の評価が保護者90%、児童83%、教職員97%である。昨年度から保護者・児童・教職員とも後退している。特に児童は7ポイント減であった。児童に寄り添い、一人一人のよさを見つめる教育活動を行っていくとともに、学校教育目標や託麻原小の「めざす児童像」を児童が理解できるようにさらに努めたい。〈問13〉においては3と4の評価が、保護者93%、児童91%、教職員79%と認識のずれがある。隔週で生徒指導朝会を行い様々な生徒指導上の課題について情報交換をし、共通理解・共通実践に取り組んでいる。学校での集団生活及び地域での社会生活がスムーズで、より快適なものにするためにも、マナーや決まりを守ることなどについて強い思いを持って伝えるように努める。〈問14〉においては、教育相談やいじめアンケートから、より詳しく実態を分析している。いじめられていると答えた児童への素早い対応も行った。そのため、ほとんど解消している。また道徳の時間や特別活動の時間に、クラスの問題を話し合うなど問題解決に向けて取り組んでいる。これからも児童一人一人の様子に気を配り、早期早めの取り組みや家庭との連携を図って、問題解決に取り組む必要がある。</p>		

健康教育 安全

15 安全と事故防止

学校は、子どもの安全と事故防止に努めていると思いますか。

対象	評価
保護者	94%
教職員	97%

16 体力向上

子どもは、すすんで外遊びやスポーツをしていると思いますか。

対象	評価
保護者	94%
児童	85%
教職員	97%

【学校から】〈問15〉において3と4の評価は保護者94%、教職員97%である。昨年度と同じ評価である。学期毎の避難訓練、集団下校訓練、学期始めに集団登校を実施して児童の安全意識の高揚を図っている。また消防署や警察署と連携して教職員の心肺蘇生法講習会、全校での不審者対応訓練なども実施している。今後も取り組んでいきたい。〈問16〉に関しては、昨年度同様の評価となった。本校の児童は始業前や休み時間において外で遊ぶ姿をよく見る。また体育委員会を中心に業間や昼休みを活用して体育的活動を行っている。また学校保健委員会を開催して、健康推進に取り組んでいる。来年度も引き続き体力向上のための取り組みを工夫していきたい。

学校行事

17 学校行事への参加と工夫

学校では、運動会や学習発表会などの学校行事が工夫されていると思いますか。

対象	評価
保護者	95%
児童	85%
教職員	95%

【学校から】3と4の評価は、保護者95%、児童85%、教職員95%である。特に保護者の4の評価は54%で、昨年度の42%から大きく前進している。本年度は、運動会、水泳大会、緑の集い、音楽会などの学校行事を行ってきた。児童がさらに意欲を持って取り組める内容を工夫改善していくように努めたい。

学校環境

18 環境の整理・美化

学校では、校舎内外（花壇や掲示物など）がきちんと整理されていると思いますか。

対象	評価
保護者	94%
児童	84%
教職員	94%

19 施設・設備の安全管理

学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。

対象	評価
保護者	97%
児童	88%
教職員	92%

【学校から】〈問18〉において、3と4の評価が保護者94%、児童84%、教職員94%である。本校の伝統として各学年一人一鉢運動を永年取り組んでいる。またさわやかタイムを活用して、草花の手入れをしたり、観察を行ったりしている。今後、言語環境の整備として掲示物の工夫や教室の整理整頓、また安全面を重視した月1回の遊具や施設の安全点検の充実を図ってきたい。

情報の公開・発信

20 学校の予定等がわかる情報発信

学校からの文書等で、学校の情報が十分発信されていると思いますか。

対象	評価
保護者	92%
教職員	97%

21 教育活動への参加

学校が公開している教育活動（行事、授業等）は、保護者や地域の方が参加しやすいと思いますか。

対象	評価
保護者	92%
教職員	95%

【学校から】〈問20〉において3と4の評価は保護者92%、教職員97%である。本校は学校だより「大志」をはじめ、学年通信・学級通信等を通して児童の学習の様子や校内行事について保護者に知らせている。また学校ホームページを定期的に更新を行い情報の発信に努めている。さらに多くの情報を発信できるように努めたい。〈問21〉において3と4の評価は保護者92%、教職員95%である。昨年度とほぼ同様であった。今後も保護者や地域の方が参加しやすいように努めていきたい。

家庭・地域との連携

22 家庭や地域との連携協力

学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。

対象	評価
保護者	92%
教職員	92%

【学校から】本年度も学校行事や学年行事を行う際に、授業支援として家庭に依頼して協力をいただいている。また地域の方々には学校行事やバザー、校区パトロール等でも積極的に支援をいただいた。さらに本年度は不審者対策として、2学期に集団下校を実施したときにも多大な協力をいただいた。今後も、この連携協力体制を維持していきたい。

(学校独自)

23 0

【学校から】

(学校独自)

24 0

【学校から】

(学校独自)

25 0

【学校から】

来年度の具体的な取り組みについて

- 学校環境緑化・体験活動等に取り組む中で、さらに「豊かな心」の育成を図ってきたい。また、「道徳的実践力」の育成が十分でないのではないかと考えさせられることもある。道徳の時間や各教科の学習、日常生活を通して「豊かな心」の育成に努めたい。
- 児童の学力向上の基盤と考える読書について、図書室の環境整備や活用方法の工夫、保護者の読み聞かせボランティアを利用などに取り組んできた。来年度はさらに児童の読書意欲を向上させたい。
- 教師の指導力の向上については、これまで校内研修の成果（授業におけるICTの活用、言語活動の充実を図るための方策）を踏まえながら、さらに各学年を通した具体的な指導のポイント、各学年毎で身につけさせたい内容の系統などを明らかにして「わかる授業」と「できる喜びを味わわせる授業」の実践に努める。

学校関係者評価

○託麻原小学校の校訓（強く、正しく、美しく）を柱に児童の教育が行われていることが印象的である。今後も教育の基本理念に基づいた教育がなされていくことを願います。

○これまで通り児童の力を伸ばす指導で「めざす託麻原の子の姿」の実現を図ってほしい。

○保護者や地域と信頼関係が結ばれている。これからも情報公開や地域との連携協力をお願いする。

○児童が将来に対して大きな夢を持ち、それに向かって学習に励むような取り組みをしてもらいたい。

○教師と児童の親しい言葉づかいには好感が持てますが、道徳の指導等で「礼儀」「規範意識」が身に付くような授業実践をお願いします。